

2022年8月吉日
笠間日動美術館 学芸部

プレスリリース

開館50年記念 夭折の画家たち -青春群像-

会期：2022年10月1日（土）～12月18日（日）



中村彝《友の像》1912年 株式会社三井住友銀行蔵

拝啓

時下、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素はご高配を賜り厚く御礼申し上げます。1972年に開館した笠間日動美術館は、皆様に支えられ、今年、50周年を迎えました。これを記念して開催する「夭折の画家たち-青春群像-」では、日本近代美術の中で優れた作品を制作し、将来を嘱望されながらも、若くして亡くなった画家たちの作品をご紹介します。

なお、来年度、JRグループ6社と地域（県・市町村・地元観光事業者等）が一体となって行う国内最大規模の観光キャンペーン、「茨城デスティネーションキャンペーン」が展開されます。本展はその前年度にあたるプレデスティネーションキャンペーン事業の一環でもございます。以下に展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

■開催趣旨

日本近代美術を振り返ると、青木繁や関根正二、中村彝、村山槐多、佐伯祐三、岸田劉生、松本竣介など、優れた作品を制作しながらも若くして亡くなった「夭折の画家たち」は少なくありません。彼らはその短い生涯に、権威や形式に囚われない新たな表現を発表し、残した言葉とともに日本近代美術史にその名を刻みました。自身の内面と向き合い、ほとぼしる若さから生まれた作品は、時代を超えて現代に生きる私たちを魅了し続けています。

彼ら夭折の画家たちが活躍した明治から大正にかけては個性の尊重や自己の肯定、生命への讃美がされた時代でした。本展では藤島武二など同時代を牽引した画家たちをあわせて紹介し、当時の時代背景を探ります。

なお、今年で生誕 135 年を迎える水戸市出身の画家 中村彝らが集った相馬愛蔵・黒光夫妻による「中村屋サロン」や、彝がアトリエを構えた「池袋モンパルナス」に関する内容もあわせて紹介いたします。

■見どころ

「池袋モンパルナスに夜が来たー」詩人で画家の小熊秀雄（1901 - 40）のこの詩は往時、若い画家たちの心情を伝えて心に残ります。村山槐多の遺書には、「自分は、自分の心と、肉体の傾向が著しくデカダンスの色を帯びて居ることを十五、六歳の頃から感付いて居ました。私は落ちゆく事その命でありました」とあり、命を削るように制作した彼の日常が垣間見えます。

本展では、彼らの魂の叫びとも呼ぶべき残された言葉を作品とともに御覧いただきます。

■出品予定作家

青木繁（1882-1911）、荻原碌山（1879-1910）、萬鉄五郎（1885-1927）、中村彝（1887-1924）、長谷川利行（1891-1940）、岸田劉生（1891-1929）、佐伯祐三（1898-1928）、村山槐多（1896-1919）、関根正二（1899-1919）、三岸好太郎（1903-34）、松本竣介（1912-48）、鬘光（1907-46）他

■関連イベント

- ・当館学芸員によるギャラリートーク

10月1日（土）、11月5日（土）、12月3日（土）各日 14時から 場所：企画展示館

- ・開館 50 年記念対談会 館長 長谷川 徳七×副館長 長谷川 智恵子「夭折の画家たちの絵との出会い」

10月8日(土)14時/企画展示館 2階 中央展示室

- ・特別講演会「魅了される大正・昭和洋画 一天才たちの異色、波乱の生涯と芸術」

講師：岡部 昌幸氏（帝京大学文学部史学科教授・群馬県立近代美術館特別館長）

11月13日（日）14時/企画展示館 2階 中央展示室

※各イベントについては、出演者の都合や感染症の影響による変更、中止の可能性がございます。予めご了承ください。

[同時期開催]

北大路魯山人所蔵名品展

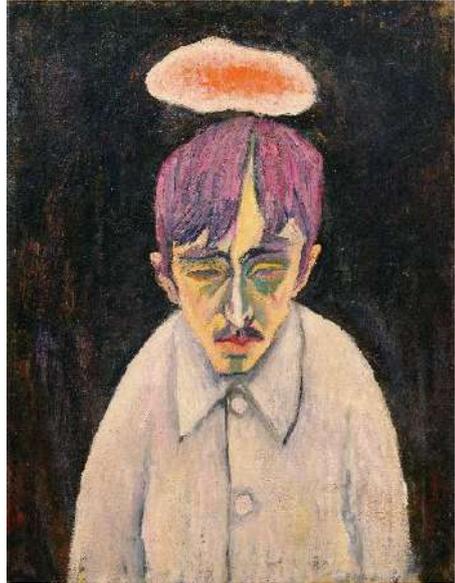
会期：2022年9月17日（土）～2022年12月20日（火）

会場：フランス館 1階 長谷川仁・林子記念室および分館 春風萬里荘

■出品予定作品【予告なく変更となる可能性があります。ご了承ください。】



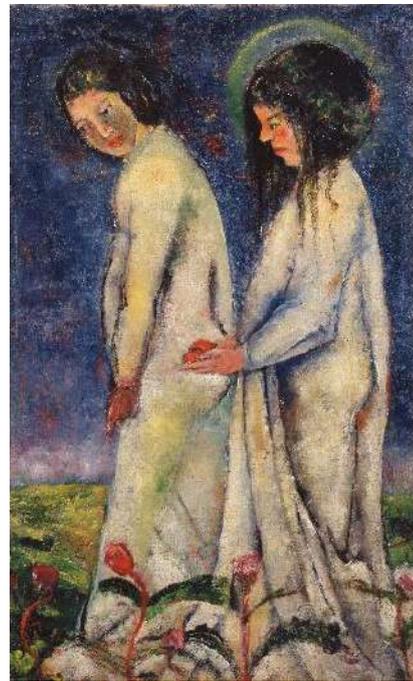
萬鉄五郎《女の顔（ボアの女）》
1912年 岩手県立美術館蔵



萬鉄五郎《雲のある自画像》
1912-13年 岩手県立美術館蔵



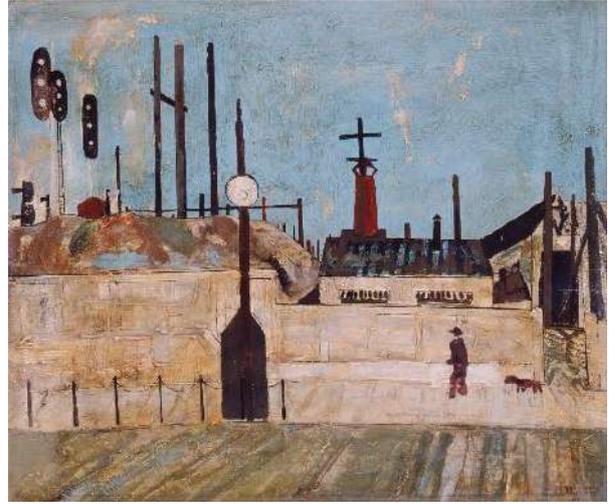
関根正二《自画像》
1918年 福島県立美術館蔵



関根正二《神の祈り》
1918年頃 福島県立美術館蔵



松本竣介《自画像》
1941年 岩手県立美術館蔵



松本竣介《駅》
1942年 福島県立美術館蔵



巖光《花・変様》
1941年 岩手県立美術館蔵



佐伯祐三《下落合風景》
1927年 個人蔵

■ 展覧会概要

- ・ 展覧会名 「開館 50 年記念 夭折の画家たち -青春群像-」
- ・ 会 期 2022 年 10 月 1 日(土)~12 月 18 日(日)
- ・ 会 場 笠間日動美術館 企画展示館 (茨城県笠間市笠間 978-4)
- ・ 開館時間 午前 9 時 30 分より午後 5 時 (入館受付は午後 4 時 30 分まで)
- ・ 休 館 日 毎週月曜日 (但し、10 月 10 日 (月・祝) は開館。10 月 11 日 (火) は休館)
- ・ 入 館 料 大人 1000 円、65 歳以上 800 円、大学・高校生 700 円、中学生 500 円、小学生以下無料
割引:20 名以上の団体は 200 円割引、障害者手帳をお持ちの方、その同伴者 1 名は各半額割引
春風萬里荘 (北大路魯山人旧居) との割引: 当日の美術館チケットをお持ちの方は 200 円割引
(小学生は 200 円) にてご入館いただけます。
- ・ 主 催 公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館
- ・ 協 力 岩手県立美術館/福島県立美術館/公益財団法人新宿未来創造財団/豊島区文化デザイン課/北海道立三好太郎美術館/萬鉄五郎記念美術館/礫山美術館/江東区森下文化センター/田端文士村記念館/TERRADA ART ASSIST 株式会社
- ・ 後 援 茨城県/茨城県教育委員会/笠間市/笠間市教育委員会/茨城新聞社/朝日新聞水戸総局
産経新聞水戸支局/東京新聞水戸支局/毎日新聞水戸支局/読売新聞水戸支局
東日本旅客鉄道株式会社水戸支社

■ 交通案内

[JR 利用]

- ・ 常磐線友部駅北口より『かさま観光周遊バス』(9:50/10:50/11:50 発)で 15 分
「日動美術館」下車後、徒歩 1 分(1 回乗車につき 100 円/1 日フリー乗車券 300 円)
- ・ 水戸線笠間駅より徒歩約 30 分、レンタサイクル約 10 分
または市内循環バスで約 15 分「日動美術館入口」下車徒歩 2 分
- [自動車利用]・常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道 355 号線経由約 6 km
- ・ 東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道 50 号線経由約 8 km

■ 問い合わせ先

- ・ 「開館 50 年記念 夭折の画家たち-青春群像-」 担当: 塚野/長谷川
〒309-1611 笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館
Mail t.tsukano22@gmail.com TEL 0296-72-2160 Fax 0296-72-5655

■ 次のページで県内外にある出品画家ゆかりのスポットをご紹介します。

以上

[ごいっしょに]

—出品画家ゆかりのスポットをご紹介します—

■中村彝アトリエ（茨城県近代美術館）

〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保 666-1

水戸市出身の夭折の画家、中村彝が晩年に制作を行った東京都新宿区下落合のアトリエが復元されています。画家が生前に使用していた椅子やソファ、テーブル、イーゼル等の遺品、デスマスクなどが展示されています。



中村彝アトリエ（復元）外観



中村彝肖像写真

画像提供：茨城県近代美術館

■豊島区立郷土資料館（豊島区文化デザイン課）

〒171-002 東京都豊島区西池袋 2丁目 37番 4号としま産業振興プラザ（IKE・Biz）7階

豊島区文化デザイン課では、豊島区立郷土資料館を拠点に豊島区の歴史を紹介しています。昭和の初めから戦前まで豊島区西部には美術学生向けのアトリエ付借家群が建ち並び、鬚光や松本竣介など多くの芸術家が暮らしました。「長崎アトリエ村」の精巧な模型が展示されています。



アトリエ村外観（1948年撮影）

画像提供：樽松正利氏



長崎アトリエ村模型（外観）



長崎アトリエ村模型（内部）

模型画像提供：豊島区立郷土資料館

■新宿区立中村彝アトリエ記念館（公益財団法人新宿未来創造財団）

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-5-7

大正5（1916）年に建築、中村彝が晩年を過ごした下落合のアトリエを、床や天井、壁の腰板など当時の部材を再利用して当初の姿を復元しています。